

文化的多様性を持つ千代田区の国際性に関する調査・研究

一千代田区の街と人をめぐるフィールドワークとそのドキュメンタリー映像の制作

目 的

昨年度を引き継いで、千代田区の持つ国際性・多様性に注目しました。今年度は、「ウォークアブルなまちづくり」という千代田区の方向性にリンクさせ、実際に街を歩くことで出会ういろいろな課題や人との出会いを重視しました。その記録やそれによって得た考察を、映像を含めた方法で発信することをめざしました。フィールドワークを重点にして区民の生活を見聞、区民との交流を進めました。その成果として、ドキュメンタリー映像を作成しました。この調査活動への参加により、学生たちに「千代田区の学徒」の自覚を促し、見慣れた景観に歴史や文化を感じ取る感性を磨きます。新たな交流の場を創出し、持続的な学びのネットワークを創りあげることができます。

研究内容・結果

本事業計画では本学教員の専門分野や言語に関連して、以下の取り組みを同時進行しました。

- 1、西神田エリアの商店への学生による取材と立体模型の展示（今井ゼミ）
- 2、Report Chiyodagaku Imai Zemi
- 3、古代メキシコ文明に関する公開講座
- 4、ガイコツを作る―異文化を学び、発信するということ―（小林ゼミ）
- 5、映画『谷中暮色』上映会（土屋ゼミ）
- 6、千代田区における学生のフィールドワーク（土屋ゼミ）
- 7、映画『私だけ聴こえる』上映会

西神田エリアの立体模型展示

ガイコツをつくった学生

学生によるインタビュー



考察・まとめ

千代田区で学ぶ実感を得られないままだった学生にとって、本事業は、地域住民と触れ合い、大使館や区民と連携する重要な機会となりました。千代田区の歴史と文化、目の前に存在する課題を学び、さらなる探求心に目覚めた学生たちは、「千代田区の学徒」として、千代田区の国際性や多様性の理解促進や発信に貢献してくれると確信しています。今後、フィールドワークやインタビューの実践経験を活かしつつ、学びとった歴史や映画学やドキュメンタリーのリテラシーを駆使して、貴重な映像や事実・証言を記録し、作品の上映を通して区民と討論していきたいと思います。そうして、区民とともに「まちづくり」に参加できる見識を備えることが期待されます。